▼CNCP レポート

CNCP のサポーターに対するアンケート調査結果

シビル NPO 連携プラットフォーム 常務理事/企画サービス部門長 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会 副理事長

横塚 雅実



■調査の目的

CNCP のサポーターは正会員、賛助会員と並び、当会の極めて重要な運営基盤の一つである。当会が擁する 120 を超えるサポーターが、当会がサポーター制度に意図した活動、例えば、経験と専門分野を活かし建設系シビル NPO(以下、「シビル系 NPO」)に参加あるいは支援するなどの活動を推進しているかについて、実情を調査し、必要な場合その改善の手立てを検討する。

これによりサポーター組織を実態のあるものに再構築し、当会が期待する活動実績を積み上げ、かつこの活動を社会に発信することで、土木と市民社会を繋ぐ大切な一要素とする。

■アンケート調査の概要

2020年3月31日現在の「CNCPサポーター名簿」を基礎に、事務局の協力を得て、サポーターの所属、専門分野の再確認/修正を主たる目的として、併せてサポーターの CNCP に対する意向をアンケート形式の設問で応えてもらう調査を行った。

①専門分野

4特典やメリットに対する実感

②入会動機

⑤CNCP 通信への感想

③シビル系 NPO に対する関心度合

アンケート調査に先立って、事務局の協力を得て、以下の準備調査を行った。これについては CNCP 通信 Vol.76 に報告している。

①年齢構成、入会年月日

④特典の利用

②紹介者の有無

⑤有償受託業務

③メールの不達状況

⑥専門分野

■アンケート調査結果

アンケート形式 メールにアンケート用紙を添付し回収する。

アンケートの実施期間 2020年8月25日~9月10日

アンケート送付件数132件メール到達件数124件

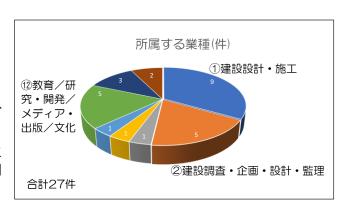
回答件数(回答率) 27件 (21.8%)



• 所属する法人 • 団体の業種

シビルマッチの募集職種分類に沿って16の業種分類を用意し、1業種を選択し回答してもらった。

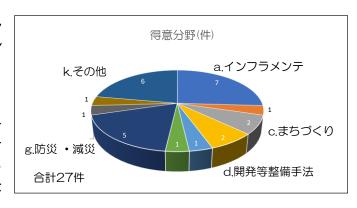
事前の準備調査結果と同様、①建設設計・施工(土木/建築/設備)、②建設調査・企画・設計・監理(同左)の2業種合計で、回答の過半数となった。3番目



に⑫教育/研究・開発/メディア・出版/文化が多いのは、大学等の学校並びに研究機関の所属を表している。

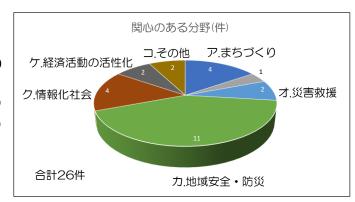
・得意とする活動分野

同様にシビルマッチの案件分野の分類に沿って11分野の分類を用意し、1分野を選択し回答してもらった。その結果、a.インフラメンテ、g.防災・減災のそれぞれが4分の1程度を占める結果となった。



• 関心ある活動分野

更にまちづくり NPO 認証時の分類を参考に 10 分野の分類を用意し、1 分野を選択し回答してもらった。その結果、力.地域安全・防災がほぼ半数占める結果となった。次いで、ア.まちづくり、ク.情報化社会がこれに続いた。



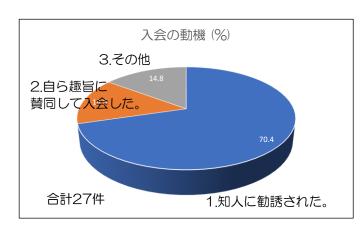
②入会動機

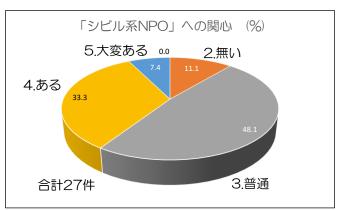
紹介者による入会の場合も含め、当会への入会

の動機を選択式で聞いた。その結果、準備調査時と同様、7割前後が紹介者による入会であった。

③シビル系 NPO への関心度合

シビル系 NPO に対する参加、支援についてその関心度合を聞いた。その結果、4 割程度が、関心が「大変ある」あるいは「ある」と回答し、普通程度と合わせ、ほぼ 9 割が何らかの関心を示した。





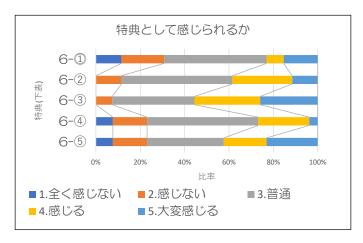
4特典

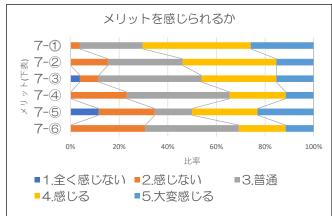
サポーター募集時に示す下記の5項目の特典について、それぞれ特典として感じるかどうかを聞いた。その結果、③CNCP通信をE-mailにて配布(毎月発行:無料)されることに特典を感じる傾向が高く、一方、④CNCP通信に投稿することができる評価は低かった。また、①シビルマッチに無料登録できることに対しても評価は低かった。

⑤メリット

同様に募集時に示す6項目のメリットについて、それぞれメリットとして感じるかを聞いた。その結果、①新たな分野の情報の入手ができることにメリットを感じる様子が強く、逆に④社会に対して政策

や制度に対する提言ができるや、⑥ソーシャルモチベーション「生き甲斐」が高まるなどを、あまりメリットとして感じていない様子であった。



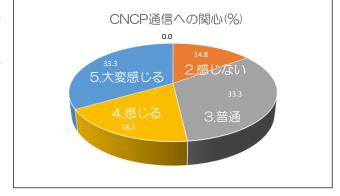


- ① シビルマッチに無料登録できます。
- ② セミナー、講座等案内を差し上げます。
- ③ CNCP通信をE-mailにて配布(毎月発行:無料) されます。
- ④ CNCP通信に投稿することができます。
- ⑤ 有償受託業務への参加が可能です。

- ① 新たな分野の情報の入手ができます。
- ② 自らの活動領域を拡大できます。
- ③ 多くの「交流」が期待できます。
- ④ 社会に対して政策や制度に対する提言ができます。
- ⑤ 社会的課題解決に向けての事業機会が得られます。
- ⑥ ソーシャルモチベーション「生き甲斐」が高まります。

⑥CNCP 通信への関心

CNCP通信に対する関心をその読書頻度で聞いた。 5.必ず読む、4.ほぼ読む、3.一部をときどき読むを合わせてほぼ8割に達している。逆に、全く読まないという回答は無い。また、自由意見が5件寄せられ、興味深く拝読しているなど好意的な意見が多かった。



■所 感

所属、専門分野の再確認/修正を主たる目的にしたにもかかわらず、回答率が3割を切った。サポーターの実数はこの30名前後と考えるのが妥当に思う。こ

れらの方々はシビル系 NPO に対する関心もあり、CNCP 通信による情報の取得にメリットを感じ、関心も持っている。当会の再構築にあたっては、サポーターの一人ひとりの顔が見えるようにしたい。

自由意見

毎号、必ず読んで、皆さんの見識の高さに感心しております。

コロナの影響で、ベルギーでは車道を狭めて自転車レーンを設け、密を避けた移動を可能にしようということが行われているようです。日本でもこれを機会に暮らし方を変えていかざる得ないと考えます。東京の人口増が止まっていることもその現れかと思います。こうした動きをお知らせいただけると地方在住の者には嬉しいです。

毎回様々な分野からの投稿が有り、興味を持って拝読させて頂いています。

様々な方たちの意見や知識に触れられるので、いつも興味深く拝読しています

長期休暇などに、まとめて拝読しています。

政策提言コンペが無くなったのですね、当方としては、そこが本会への入り口だっただけに寂しいです。